

限られた予算で最大の効果を発揮する予算編成

《平成30年度一般会計予算 265億4,747万円》

「子ども未来局」の設置
新庁舎建設工事の着工

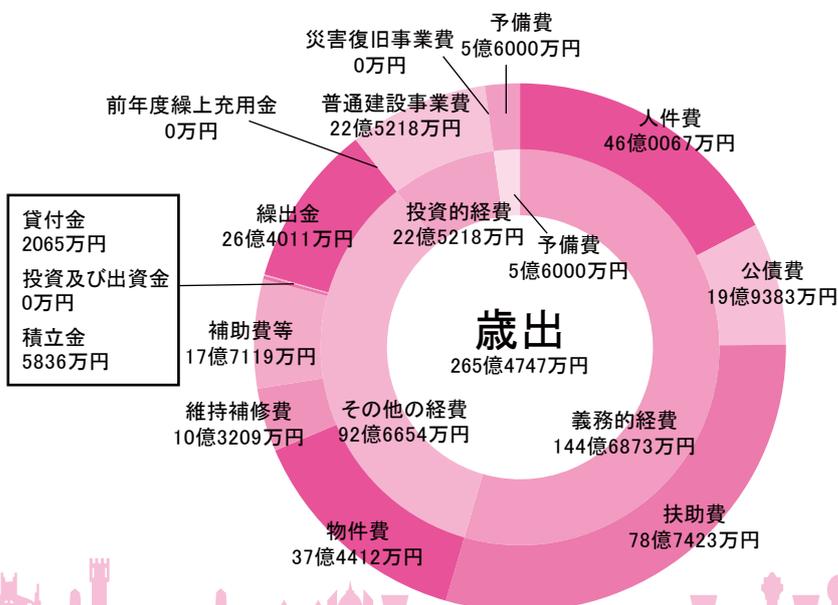
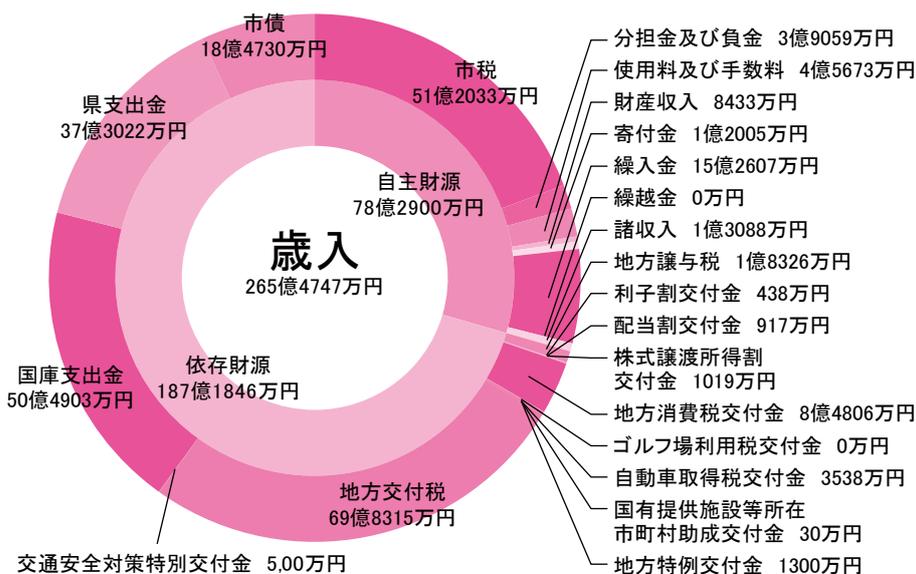
平成30年度当初予算は、265億4,747万円の前年度比3.9%の減、特別会計は総額174億9,019万円の前年度比6.0%の減となりました。その後、4月9日、石垣市議会臨時会において、新庁舎建設費39億852万円を追加する総額304億5,600万円の補正予算案が可決・成立いたしました。

昨年は、本市への入域観光客数が約137万6千人と過去最高を記録し、好調な観光産業を中心に農林水産業、商工業等の各産業への景気拡大により地域経済は着実に発展しております。

課題となる子育て支援の充実につきましては、待機児童解消に向けた保育士確保の取組みを継続するとともに、幼保一元化を推進するため、今年度新たに「子ども未来局」を設置し、就学前教育と保育の質の向上、地域子育て支援体制を構築してまいります。

今年度の当初予算編成にあたりましては、第4次石垣市総合計画 後期基本計画及び実施計画に基づき、地域における各種課題を解決することにより「日本一幸せあふれるまち石垣市」を

推進する予算編成を行いました。特徴として、歳入では、自主財源の柱である市税が市内経済の活況を受け、対前年度比9千万円の増額を見込む一方、地方交付税につきましては対前年度比1億8千万円の減額となる見込みとなっており、基金からの繰入金などで対応しております。歳出では、子供の貧困対策、ひとり親家庭の生活を支援する新たな施策など、社会福祉の更なる充実を図るための予算を確保いたしました。また、新庁舎建設工事、福祉避難所兼ふれあい交流施設等の大型工事につきましては、交付金と交付税措置を受けることのできる優位な起債を活用し、一般財源の負担軽減に努めてまいります。



国民健康保険事業	62億4,184万円
公共下水道事業	24億7,092万円
港湾事業	16億2,697万円
土地区画整理事業	1億3,849万円
介護保険事業	37億9,346万円
後期高齢者医療	3億6,520万円
水道事業	28億5,331万円